

# ブレーキ距離の増加を抑制する 車輪／レール間潤滑油

## 【概要】

曲線部で車輪フランジ・レールゲージコーナの摩耗を抑制するとともに、車輪踏面とレール頭頂面の間に介在しても、ブレーキ距離の増加を抑制する新しい潤滑油です。

## 【特徴】

特殊な分子構造を持ちせん断抵抗が大きい合成基油の適用により、従来の油よりもトラクション係数（転がり摩擦係数）が約7割高い潤滑油です。この油が車輪踏面／レール頭頂面に介在しても、ブレーキ距離の増大を約50%抑制することができます。

摩耗防止性能を従来の油と同程度に設定してあります。そのため、摩耗を防ぐとともに、きしみ割れ等、油が原因のひとつであるレールの損傷を、従来の油を用いた場合より進展させることはありません。

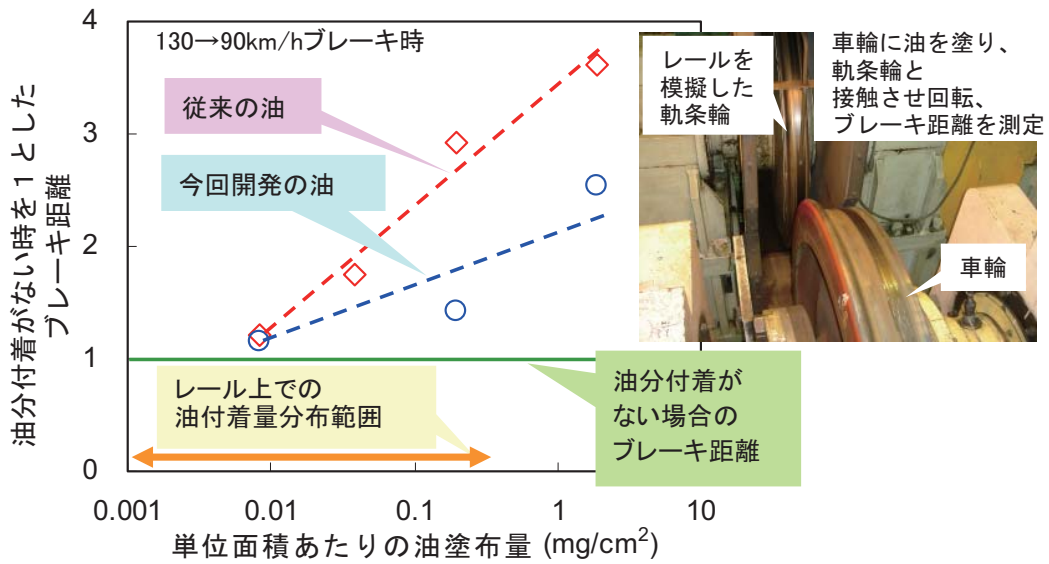
環境への影響は従来の油と同じレベルです。

## 開発油と従来油の比較

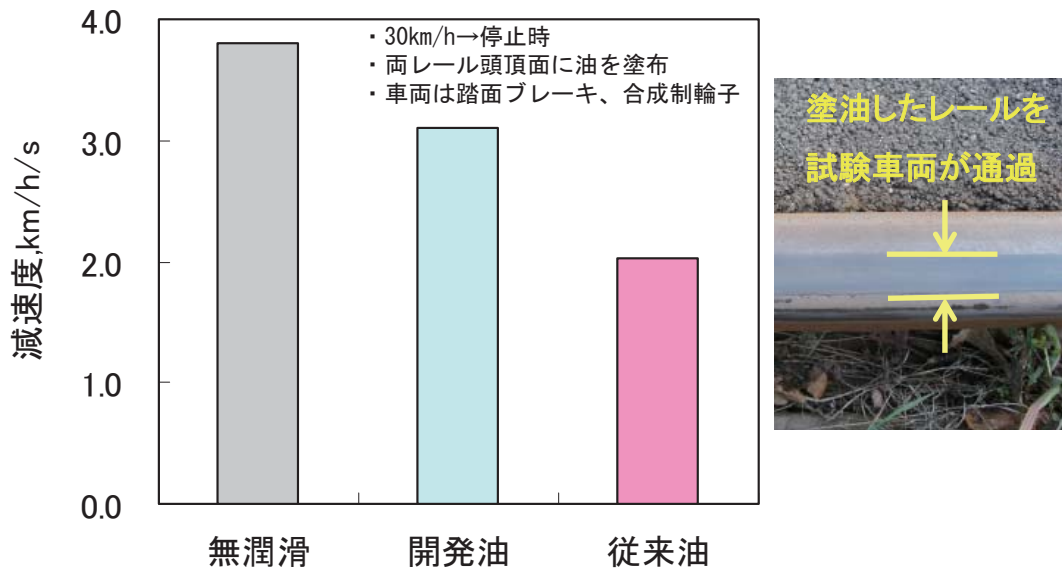
種別	基油	添加剤	特徴
開発油	合成炭化水素＋ 高粘度合成エステル	酸化防止剤 摩耗防止剤	高トラクション 係数
従来油	鉱油系	ポリマー	現行使用油の 一種

## 【用途】

すでに車両に搭載されている車輪・レール塗油装置で、現行の潤滑油の代替として使用が可能です。



ブレーキ距離延伸への影響の比較 (室内試験)



実車両を用いた、鉄道総研構内試験線におけるブレーキ距離の比較

特許出願中